

すごく緊張したけど、ちゃんと発表できました！

真光寺川を清流にする会
世話人 山口 拓郎

11月27日「町田ごみフェスタ2005」が開催された。当日は朝から抜けるような青空が広がっていた。鶴三小の4年生が舞台の上で元気よく「ごみの減量」の研究成果を発表した。今年のごみフェスタは当初開催さえ危ぶまれていた。例年10月初旬開催が恒例であったが、たまたま「ごみの有料化」開始と定期的に重複してしまったからである。「折角13回も継続した行事を途切れさせたくない」市民の熱意が開催に漕ぎ着ける原動力となった。時期も大幅にずれた。それだけに発表を特別な感慨を持って聞いた。

11月
11月3日(文化の日)のつだ丘上秋まつり野津田公園のヤマナラシ広場は秋晴れの日射しを楽しむ親子連れでにぎわった。昨年から女性スタッフを中心に企画している。真光寺川に自生する植物を使っての細工は子ども達に好評である。ジュズダマでプレスレットを仕上げた顔は達成感に輝いていた。

11月7日(月)鶴三小4年児童から質問状竹村はるかさんは真光寺川のことを学習しているそうだ。質問のレターが送られてきた。早速回答を書いて返送する。

11月13日(日)清掃日
朝方は曇っていたが次第に晴れてくる。岡上小の萌香ちゃんとお友達、それに和光鶴小の大野先生も参加される。参加者14名。水は冷たかったが、暖かい日射しに助けられる。矢崎橋の下に黒い大型のごみ袋3個。ごみ有料化になり旧い袋では捨てられなくなりその腹立ち紛れに放り込んだのだろうか。終わっていちよう会館で反省会。2時解散。

11月17日(木)水サンプル回収
家を8時半にスタートする。小田急線ガード最近落書きが消されきれいになっている。その手前の四阿近辺もきれいに清掃されている。近所の方々がグループを作って清掃作業をされているらしい。嬉しいことだ。元真光寺駐在所裏、新しく家が建てられて入れない。遠回りする。最後は駆けたが約束の時間を15分も超過する。松前さんに迷惑をおかけする。

11月22日(火)和光鶴小トーク

大野先生からトークを依頼される。4年生、34名のクラスである。真光寺川の学習に取り組み、その成果をまとめることになっているらしい。それぞれテーマを持っている。質問が次々あり予定時間を大幅に超過してしまった。やはり、テーマを持つと真剣さが違うなと感じた。

11月24日(木)麻生総合高清掃作業
昨年引き続き清掃作業をしたいとの連絡を受ける。1年生の総合学習の一環として選択されたらしい。

桜井、田中さんに応援をお願いし待機する。午後2時、先生に引率されて女子生徒11名男子生徒1名が下堰親水に到着する。上手と下手に分かれてごみ拾いにかかる。始めこそ冷たい水に悲鳴を挙げていたが、1時間余りごみ拾いに専念する。回収したごみは手分けして持ち帰ってくれた。学校まで2Kmはある。少々気の毒な気がした。後日、礼状を兼ねた感想文が送られてきた。「川掃除は予想以上にづく大変なものでした。しかし終わってきれいになった川を見ると晴れ晴れとした気分になりました」

11月27日(日)ごみフェスタ2005
快晴、先ずはほっとする。初冬のこの季節なよりも天候が懸念された。

7時に岸先生が発表に使う模造紙・道具を届けに来られる。8時に山本さんの車でリサイクルセンターへ。鶴三小のブースはエコネット町田の隣に並んで建てられている。机の移動、当日チラシの用意。目が廻るような忙しさだ。9時半、バス停で待つ。児童42名が続々バスから降りて来る。校長先生、副校長先生も同行。午前の部、午後の部、それとブーツの前、3

班に分かれてそれぞれ20分ずつ発表する。子ども達の元気な声がマイクを通して広い会場にこだまする。立派な研究成果に高い拍手が響きまくる。エコネットのブースでは女性スタッフの真光寺川の植物を使っての細工が評判。参加者の対応に追われ大変の状況である。発表を終えて子ども達は紅葉した会場で繰り広げられている様々な催しを存分に楽しんだ様子だった。意気揚々と引き上げていく。4時、盛会裡に終了。多忙なだが充実した1日がようやく終わった。

12月

12月7日(水)鶴三小保健委員会
鶴三小では「学校を地域の核にしたい」という理念に基づき開かれた運営を意図されている。その一環として地域の関係者を保健委員に委嘱された。その第一回の委員会が開催された。内科校医から児童の体位、生活パターン、睡眠時間等、歯科校医から学年別歯歯と治療の状況等、養護教諭から登校拒否・引きこもりの状況等が報告され大変興味深かった。豊かな時代を生きていくのは、子ども達にとって結構大変なことだなと感じた。

12月11日(日)清掃日

曇天。流石に水が冷たい。「能ヶ谷ちよぼらの会」の緒方さん等参加される。ちよぼらとは「ちよいとボランテイア」という意味だそうだ。落書き消しや四阿周辺の清掃をやってきたそうだ。これから協力しあうことになった。メンバーに子ども達が多いので楽しみだ。終わっていちよう会館で「ちよぼらの会」の

立ち上げの経緯や活動状況を聞く。

12月14日(水)白濁した汚水放出
藤本さんから通報「ビュウティスワン」の改築現場から白濁した汚水が大量に放出されているとのこと。急遽市の環境保全課に連絡する。既に地からも通報を受けており現場に急行しているところだと云うことだった。

12月15日(木)サンプル水の採集
前月手間取ったので、30分早く8時に出発する。前日の通報通りビュウティスワンの辺りから矢崎橋へかけて川底一面に灰褐色の汚物がべったりこびりついている。川を汚物の処理場と考えているのだろうか。憤慨にたえない。4ヶ所採集し予定通り松前さんへ。

1月

1月8日(日)尾根道、真光寺公園探検
清掃日だが1~2月は水が冷たいので作業は見合わせる事になっている。新年懇親会を兼ねて上流周辺を散策することに。市民大学・環境講座を修了された太田さんも参加する。同勢19名。9時半、下堰親水に集合し先ず河原の葎を燃やす。かなり手強い。10時スタート。快晴。微風絶好の探索日和である。真光寺川を遡上、能ヶ谷橋から旧道に入る。神羽神社を過ぎて櫻屋へ。早速新年を祝って乾杯!20種余りの惣菜は食べ放題、それに信州のそばがいい。一同堪能して散策へ。林間の小径を真光寺公園まで歩く。此処で一旦解散となる。希望者は新選組の面々が往復したと伝えられる「布田の道」へ足を伸ばす。緒方家のおちびさん達頑張るに更に4Kmばかりを踏破する。

1月12日(木)南東達との打ち合わせ
緒方さんのお口添えで工区長の岩本さんから電話を頂いた。「川の管理をしているが、皆の意向を入れて進めていきたい」とのこと。嬉しいことである。早速、打ち合わせを持つことになった。折角ならば現場でということ。「五条池」に集合する。南東達から5名、清流の会から7名。ざっくばらんに話し合うことができた。お姿勢には様々なしきたりとしがらみがあるようだ。しかし前向きに対処されるようで心強い。いいムードで打ち合わせを終えることができた。(この項おわり)

